



世界に誇る「水月湖年縞」

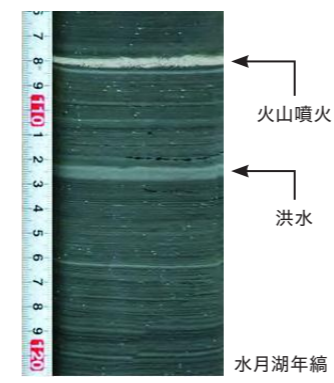
三方五湖の5つの湖の中で最も大きい水月湖。その湖の下にある縞模様様の堆積物が「年縞」です。

年縞の縞模様は、プランクトンと黄砂のように、異なる物質が交互に積み重なって作られます。1年間にできる縞の幅は、わずか0.5〜1ミリメートル。水月湖年縞は、7万年もの年月をかけて作られ、その長さは45メートルにも及びます。年縞を解析すると、当時の

特集 学び・守るふくいの里山里海湖

豊かな環境・すぐれた風景を次の世代に

自然環境や自然災害を知ることが出来るほか、化石や文化財などの年代を特定することが出来ます。7万年分という、世界でも類を見ない長さの水月湖年縞は、平成24年に「世界標準のものさし」として認められ、現在も高く評価されています。



◇年縞の価値を知ろう

7月に、年縞についての特別授業を若狭高校と高志高校で行いました。生徒たちは、年



年縞の特別授業(若狭高校)

縞研究の第一人者である立命館大学の川中毅教授から、水月湖年縞が世界に認められるまでの軌跡を学んだのち、年縞に含まれる花粉を顕微鏡で観察。年縞への理解を深めました。

9月には、水月湖年縞の価値を世界に発信するための国際シンポジウムを開催します。国内外の研究者が、年縞の保

水月湖年縞 国際シンポジウム

9月17日(日)
13時30分~16時

☎ 県国際交流会館(福井市宝永)
定 300名(事前申込)
☎ 9月11日(月)まで
☎ 自然環境課
☎ 0776-20-0305

全や教育・観光分野での活用法について意見を交わします。水月湖年縞の世界的価値を知る良い機会ですので、ぜひご参加ください。

「学びの森」で自然体験

楽しみながら自然に触れ、親しみ、学ぶことのできる里山「福井ふるさと学びの森」。平成26年に若狭町気山の森からスタートし、現在は33か所まで拡大。県内すべての市町に整備しました。

学びの森では、生き物観察や間伐体験、植物を使ったゲームなどのイベントを、年間を通して開催。里山の恵みを気軽に体感できる環境教育の場として、これまでに、約9千人が利用しています。

里山がより豊かになる秋にも、多彩なイベントを行いますので、ぜひご参加ください。

里山里海湖の保全を考える

里山里海湖の保全を考える市民や学生、研究者などが参加する「自然再生学会全国大会」。第8回となる今年、県の誘致により、6月に敦賀市内で開催されました。

全国から集まった自然環境保全団体が、自然再生活動を通じて地域づくりやその成果を発表。福井県の参加者は、絶滅危惧種を含む約3千種の動植物が生息する中池見湿地(敦賀市)の保全活動や、里山里海湖研究所(若狭町)が行っている環境教育を紹介しました。



中池見湿地の視察

現地視察には約30名が参加。中池見湿地を訪れ、湿地植物の保全や、アメリカザリガニなどの外来生物を駆除する方法について議論しました。また、気比の松原では、マツが健全に育つために欠かせない「松葉かき」を体験。自然再生の大切さと難しさを体感しました。

コウノトリが舞う里山を守る

県では、コウノトリを自然再生のシンボルと位置づけ、豊かな自然環境づくりを推進しています。

無農薬での米作りや、田んぼと水路を魚が行き交うための水田魚道の整備など、生きものが豊かな里づくりを行っている地域を「生き物ぎょうさん里村」として、その活動を支援。これまでに47地域・団体を認定しました。

平成23年からは、越前市白山区でコウノトリの飼育繁殖を行い、昨年までに5羽のコ



今年生まれたヒナ

ウノトリが誕生。うち4羽(げんきくん、ゆめちゃん、たからくん、さきちゃん)を野外に放鳥しました。

今年5月には、46年前に越前市で保護されたくちばしの折れたコウノトリ「武生(愛称・コウちゃん)」の孫が誕生。2羽のヒナは、おとなと同じ大きさまで成長し、巣から出て自分でエサを捕るなど、順調に育っています。今後、愛称を決定し、放鳥する予定です。

☎ 自然環境課
☎ 0776-20-0306
☎ 0776-20-0635

知事コラム



知事 西川 一誠

身近な自然や森林資源を活用した学校での体験学習について、全国の小学生が発表や意見交換を行う「学校の森・子どもサミット」を来年7月に県内で開催することが決定しました。福井ふるさと学びの森での自然観察や、久々子湖でのシジミ採りなど、森と湖での活動を県内外の子どもたちに体験してもらい、豊かな里山里海湖を生かした福井の優れた環境教育を全国にPRします。